

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	1949年12月14日 (創業: 1906年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、医療用機器、薬品類、ガラス関連建材、室内装飾用品等の販売、レンタル、リース及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルティング。 機械工具器具とその部品類の加工販売、レンタル、リース及び輸出入。 古物売買業。
従業員数	連結 267名/単体 231名 (嘱託社員を除く) (2024年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ( <a href="https://www.toba.co.jp/">https://www.toba.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

百年の信頼を未来につなげる

## 第76期 中間報告書

2024.4.1 ▶ 2024.9.30

TOBA 株式会社 鳥羽洋行  
証券コード: 7472

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders



2024年12月

代表取締役社長  
遠藤 稔

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第76期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期における日本経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費の増加、企業の設備投資需要に持ち直しの動きが見られる等、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、欧米における高い金利水準、中国の景気後退、エネルギー・原材料価格高騰の継続による景気の下振れ懸念等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境下における当社グループの国内販売は、情報通信技術の成長に伴うデータセンターの拡張、生成AIの進化等、中長期的な半導体市場全般の活発な設備投資が見込まれておりますが、メモリ半導体の需要回復が遅れており、一部の半導体製造装置に関連する得意先への販売が伸び悩みました。一方、自動車生産台数は回復傾向にあり、国内のHVの普及に加え、ADAS(先進運転支援システム)の標準搭載が進んだことから、自動車・車載部品関連の得意先からの受注は好調に推移いたしました。

海外販売につきましては、中国経済の低迷は継続しているものの、各種デバイス向け電子部品に関連する得意先への産業用ロボットの販売は前期を上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は141億86百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は6億62百万円(前年同期比9.4%減)、経常利益は7億28百万円(前年同期比6.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は4億93百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

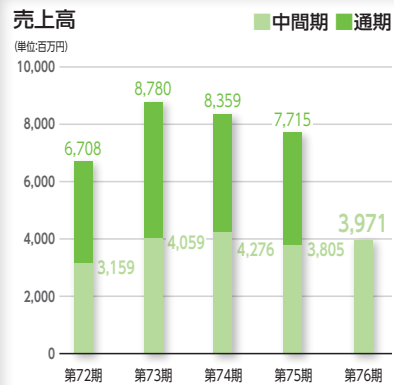
**制御機器** 生産工場の構成には欠かせない

**売上高39億71百万円**

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体及び半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品、工作機械等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、サプライチェーンの安定化を目的とした製造業の国内回帰の動きにより、精密機器に関連する得意先からの受注は好調を維持しております。また、自動車等に搭載されるパワー半導体の設備投資需要は堅調に推移し、半導体製造装置に関連する得意先向けへの空気圧機器の販売が増加いたしました。

以上により制御機器全体の売上高は前年同期を上回る39億71百万円（前年同期比4.4%増）となりました。



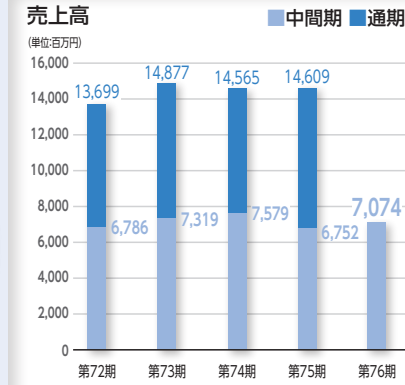
**FA機器** 工場の自動化・コストダウンを実現

**売上高70億74百万円**

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、自動車生産台数は回復傾向で推移しており、自動車・車載部品に関連する得意先の設備投資は回復基調にて推移いたしました。中でも車載電装部品を製造する得意先向けへの表面実装機の販売が好調に推移しました。また、中国における経済状況は悪化している一方で、各種デバイス向け電子部品に関連する得意先への産業用ロボットの販売が、前年同期を上回る結果となりました。

以上によりFA機器全体の売上高は前年同期を上回る70億74百万円（前年同期比4.8%増）となりました。



**四日市営業所を開設いたしました。**

当社は、2024年4月、名古屋営業所から分離独立した四日市営業所を開設いたしました。四日市市を中心とした三重地区にて、地域に密着したサービスを展開し、同地区での販売を強化してまいります。



■所在地

〒510-0882

三重県四日市市追分1丁目6-19

電話番号：059-325-6367

FAX番号：059-325-6368

**展示会出展のご報告**

2024年7月24日～26日

第4回 工場内の協働ロボット活用展（東京ビッグサイト）  
当社ブース来場者数 2,253名

2024年8月22日～23日

UR協働ロボットフェアin仙台（サンフェスタ・仙台市）  
当社ブース来場者数 127名

2024年10月2日～4日

第27回 機械要素技術展【大阪】（インテックス大阪）  
当社ブース来場者数 2,268名

本年におきましては上記展示会へ出展いたしました。当社の事業内容の説明や取扱い商材（今後の注力商品含む）をデモ機実演とともに紹介し、商談を実施いたしました。各展示会では、まだ取引口座のない大手優良企業の方々も多数来場していただき、具体的な引き合いも多数いただいております。

現在、営業部門においてご来場いただいた方々へのフォロー活動を実施し、今後の取り引き拡大へ努めております。

今後も大型展示会への出展を行い、売上規模拡大や新規顧客開拓に取り組むことで、更なるTOBAブランドの強化・企業価値の向上を目指します。



当社ブースの様子

**産業機器** 生産組立て作業に使用されている

**売上高31億39百万円**

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、データセンターの拡張や生成AIの進化等、中長期的な半導体市場全般の活発な設備投資が見込まれているものの、メモリ半導体の回復が期初に想定した時期よりも遅れており、半導体製造に関連する得意先向けへのろ過フィルターの販売が、前年同期を大きく下回る結果となりました。

以上により産業機器全体の売上高は前年同期を下回る31億39百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

